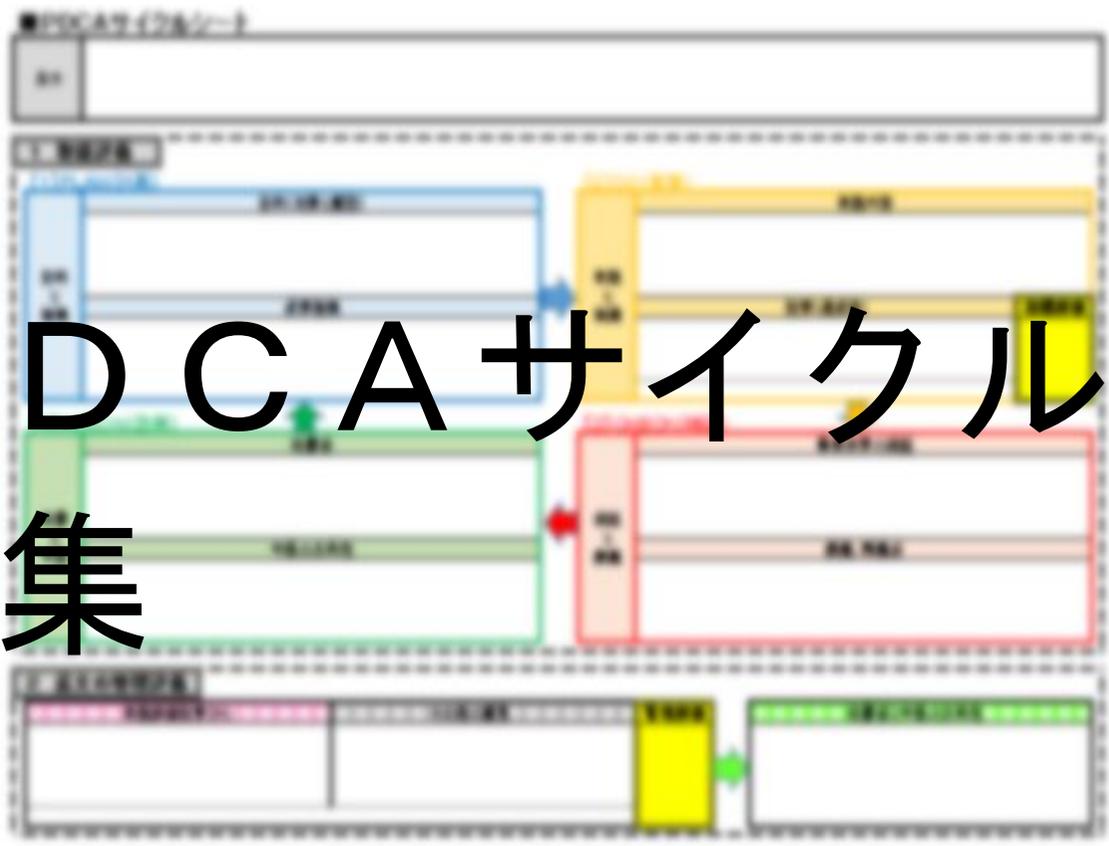


R6事務事業評価資料

PDCAサイクルシート
ト集



【評価区分】

【段階評価】 取組の振り返り・評価

概ね達成している

A: 目標達成

➤ 計画の目的を達成

B: 概ね目標達成

➤ 7割以上、計画の目的達成

一部達成している

C: 一部目標達成

➤ 5割以上、計画の目的達成

できていない

D: 一部目標着手

➤ 取組に着手

(3割以下)

E: 未着手

【達成割合の算出方法(原則)】 取組実施(増加)の有無を50%とし、件数の多寡や工夫・改善の状況等により加点

■PDCAサイクルシート【令和6(2024)年度】

条文	(議会の活動原則) 第3条 (略)
	(2) 政策の決定を行うとともに、市の事務執行について監視及び評価を行うこと。

計画項目	【取組No.1】 議会選出監査委員のあり方の検討
------	--------------------------

取組評価

【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)	・議会選出監査委員の必要性やあり方を検討し、必要な見直しを行います。
	成果指標	①監査制度や決算審議の充実強化による適正な市政執行の確保

【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	①議会選出監査委員の有効活用の研究 ②監査情報開示の調査
	結果(達成度)	①②未実施
【成果指標の評価】		段階評価 E
未実施		

【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点	・全議員で理解を深めることから必要。
	今後の方向性	・改選後の議会において、全議員で理解を深める。 ・どうすれば理解が深まるかの議論が必要。

【3】CHECK(検証)

	事業効果の検証	①②未実施
	課題、問題点	・全議員に取組みの目的が理解されていない。

■PDCAサイクルシート【令和6(2024)年度】

条文	(委員会) 第5条 委員会は、議会における政策立案及び政策提言を積極的に行うものとする。
----	---

計画項目	【取組No.2】 委員会審査のあり方の検討
------	-----------------------

取組評価

【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)	・議論の深まる委員会審査のあり方を検討します。
	成果指標	①委員会審査の質の向上により市政への充実した監視・評価につながる

【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	①充実した委員会審査のあり方を検討	段階評価 B
	結果(達成度)	①実施(委員会における議員間討議テーマの事前通告の試行及び再検討)	
		【成果指標の評価】 7割以上実施	

【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点	・討議の事前通告性の効果は今のところ限定的ではあるが、デメリットのある制度でもなく限定的ではあるが、効果も見られるので継続とする。 ・充実した委員会審査のための出来ることを今後も研究する。
	今後の方向性	・事前通告により、議論が高まった事例もあったということで、制度としては継続する。 ・その他の委員会審査を充実させる手法を検討。

【3】CHECK(検証)

事業効果の検証	事業効果の検証	・委員会審査における熟議のため、議員間討議の活性化の研修成果を基に、「議員間討議テーマの事前通告の試行」を実施。令和6年6月定例会議～12月定例会議の3定例会議全体で3回実施した。 ・討議する点が明確になることにより、委員それぞれの意見を聞いた上で議論が深まった。
	課題、問題点	・委員会審査のときにも、議員間討議ができることから、事前通告の効果は限定的であると考えられる。

■PDCAサイクルシート【令和6(2024)年度】

条文	(委員会) 第5条 委員会は、議会における政策立案及び政策提言を積極的に行うものとする。
----	---

計画項目	【取組No.3】 会派代表質問・市政一般質問のあり方の検討
------	-------------------------------

取組評価

【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)	・政策提言を行いやすくなる取組を行います。
	成果指標	①.②一般質問等からの政策立案を目指し、調査研究へ進めることによる市民意見の反映
	取組と実績	

【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	①一般質問案件の事後調査 ②委員会代表質問の研究
	結果(達成度)	①未実施 ②実施(委員会代表質問制度の研究を実施)
	【成果指標の評価】	5割以上実施

段階評価	C
------	---

【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点	①全議員で理解を深めることから必要。 ②実現に向けて具体的に研究する。
	今後の方向性	①改選後の議会において、全議員で理解を深める。 ②実施に向けた研究・検討をする。
	課題、問題点	①令和5年度のアンケート結果から、全議員に取組の目的が理解されていない。 ②本市で導入する際の具体的なルールや本会議における取扱いを検討する課題がある。

【3】CHECK(検証)

事業効果の検証	事業効果の検証	①未実施 ②視察した岩倉市の委員会代表質問制度を研究。本市においても、委員会で研究した事柄を質問を通じて、広く表明することが重要との理由から、今後も研究することを決定。
	課題、問題点	①令和5年度のアンケート結果から、全議員に取組の目的が理解されていない。 ②本市で導入する際の具体的なルールや本会議における取扱いを検討する課題がある。

■PDCAサイクルシート【令和6(2024)年度】

条文	(市民と議会との関係) 第7条 議会は、全ての会議を原則公開とする。 4 議会は、市民が傍聴しやすい環境の整備に努めるものとする。
----	---

計画項目	【取組No.4】 会派代表質問・市政一般質問のあり方の検討
------	-------------------------------

取組評価

【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)	・傍聴者をはじめとした市民にとって分かりやすい一般質問等に努めます。
	成果指標	①市民にとって分かりやすい質問による傍聴(インターネットを含む)環境の整備
	取組と実績	

【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	①質問のあり方の研究(代表質問時の質問調整や資料提供時のルール作り)	
	結果(達成度)	①実施(質問時の資料掲示・配布のルール(案)作成及び実施)	段階評価 B
	【成果指標の評価】	8割以上実施	

【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点	・実施後に課題が生じた場合には、改善が必要。 ・代表質問・一般質問をより良いものにしていくため、新たな取組を模索する。
	今後の方向性	・必要に応じて改善を行う。 ・引き続き質問のあり方は研究が必要。

【3】CHECK(検証)

課題、問題点	事業効果の検証	・質問時の資料掲示・配布のルール(案)作成及び実施。
	課題、問題点	・ルールの実施が令和7年3月定例会議からであるため、実施後に課題が生じる可能性がある。

■PDCAサイクルシート【令和6(2024)年度】

条文	(広聴広報機能の充実) 第17条 議会は、市民の意向の把握及び多様な広報手段を用いた情報提供に努めるものとする。
----	---

計画項目	【取組No.5】 市民意向の把握や多様な情報提供のあり方の検討
------	---------------------------------

取組評価

【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)	・市政の仕組みや議会活動等への理解促進に努めます。
	成果指標	①市民意見・要望の把握及び住民参加による議会への理解促進
	取組と実績	

【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	①市民意向の把握方法や多様な情報提供、議会への理解促進のあり方の研究(模擬議会等のイベントを含めて)
	結果(達成度)	①実施(広聴広報委員会にて検討)
	【成果指標の評価】	5割以上実施

段階評価	C
------	---

【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点	・議会モニターからいただいた意見に対しては、おおむね改善を図っているため、今後は意見が必要と見込まれる事案があった場合に、議会モニター制度を改めて設けることとする。 ・議会モニター制度としては休止する。
	今後の方向性	・議会モニター制度を活用して、意見をいただきたい場合には、再度設置を検討する。 ・市民意向の把握や多様な情報提供のあり方は時代に合わせて常に検討を進めるべきなので、情報の収集や研究は続ける。
	課題、問題点	・議会モニターになる方が、特定の限られた方になっている現状から、幅広い市民の意見ではなく、特定の限られた意見に終始してしまう。 ・全議員が関わる事業であるとの認識の醸成を図る必要がある。

【3】CHECK(検証)

事業効果の検証	事業効果の検証	・広聴広報委員会にて検討。 ・市民意向の把握や情報提供、議会への理解促進として実施する議会モニター制度を再検討した。
	課題、問題点	・議会モニターになる方が、特定の限られた方になっている現状から、幅広い市民の意見ではなく、特定の限られた意見に終始してしまう。 ・全議員が関わる事業であるとの認識の醸成を図る必要がある。
	改善点	・議会モニターからいただいた意見に対しては、おおむね改善を図っているため、今後は意見が必要と見込まれる事案があった場合に、議会モニター制度を改めて設けることとする。 ・議会モニター制度としては休止する。

■PDCAサイクルシート【令和6(2024)年度】

条文	(広聴広報機能の充実) 第17条 議会は、市民の意向の把握及び多様な広報手段を用いた情報提供に努めるものとする。
----	---

計画項目	【取組No.6】 市民アンケート等の実施
------	----------------------

取組評価

【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)	・市民アンケート等により、市民の意思を把握し、市政に反映させます。
	成果指標	①市民の声を議会に届ける仕組みが整備されていること。
	取組と実績	

【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	①幅広く意見を把握する方法の検討(SNSやGoogleフォーム等の活用)
	結果(達成度)	①実施(議会活性化特別委員会にて検討)
	【成果指標の評価】	5割以上実施

段階評価	C
------	---

【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点	・議会活性化特別委員会の提言書を基にアンケートを実施する。
	今後の方向性	・今後アンケートを実施する際には、有効性を見極めたうえで今回の提言を参考にする。

【3】CHECK(検証)

事業効果の検証	事業効果の検証	・議会活性化特別委員会にて検討。 ・意見聴取の手法として、Googleフォームや予算を取ったうえで無作為抽出によるアンケートの送付、ノベルティ(ティッシュやピンバッジ等)を活用することでより幅広く意見を求めることを検討した。
	課題、問題点	・議会活性化特別委員会の報告を活用できていない。

■PDCAサイクルシート【令和6(2024)年度】

条文	(議員定数) 第20条 議員定数の改正に当たっては、行財政改革の視点だけではなく、市政の現状と課題、将来の予測と展望を考慮するものとする。
----	--

計画項目	【取組No.7】 議員のなり手確保に向けた取組
------	-------------------------

取組評価

【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)	・研修会の実施等により、議員のなり手を養成します。
	成果指標	①市議会議員選挙立候補への意欲を高め、議員のなり手を継続的に確保する。

【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	①議員のなり手確保に向けた取組みの研究 ②市民等の議員研修への参加呼びかけ
	結果(達成度)	①未実施 ②未実施
	【成果指標の評価】	未実施

段階評価	E
------	---

【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点	・全議員で理解を深めることから必要。
	今後の方向性	・改選後の議会において、全議員で理解を深める。

【3】CHECK(検証)

事業効果の検証	事業効果の検証	①②未実施。
	課題、問題点	・令和5年度のアンケート結果から、全議員に取組みの目的が理解されていない。

■PDCAサイクルシート【令和6(2024)年度】

条文	(議会制度及び運営の見直し) 第21条 議会は、制度や運営の方法について、継続的な見直しを行うものとする。
----	--

計画項目	【取組No.8】 新庁舎に向けた新たな議会運営の検討
------	----------------------------

取組評価

【1】PLAN(計画)

目的と指標	目的(対象と意図)	・令和9年度開庁予定の新庁舎における新たな議会運営のあり方を研究します。
	成果指標	①親しみやすい議会運営による開かれた議会の実現
	取組と実績	

【2】DO(実施)

取組と実績	取組内容	①傍聴規則の研究
	結果(達成度)	①未実施
	【成果指標の評価】	未実施

段階評価	E
------	---

【4】ACTION(改善)

改善と今後	改善点	・未実施のため、改善点もなし。
	今後の方向性	・標準傍聴規則の改正後の内容を確認し、改正を検討する。
	課題、問題点	・未実施のため、課題・問題点の把握なし。

【3】CHECK(検証)

事業効果の検証	事業効果の検証	・新庁舎に向けた検討として、傍聴規則の研究を行う予定であった。新庁舎は実施設計が出来ていない状況。また、全国市議会議長会において、令和6年度中に標準傍聴規則の改正を予定しているため、改正後の内容を参酌する必要がある。議会事務局としても、関東市議会議長会の会長市として、標準傍聴規則の改正検討に係わっている状況。
	課題、問題点	・未実施のため、課題・問題点の把握なし。
	改善点	